

平成23年度第1回学校評議員会記録

期日 平成 23 年 7 月 22 日(金)

時間 10:00～11:30

場所 久慈拓陽支援学校校長室

【出席者】

学校評議員 5 名、職員 8 位

【次第】

1 開 会

2 校長あいさつ

3 出席者自己紹介

4 報 告

- (1) 平成 23 年度本校の教育ビジョンについて
- (2) 平成 23 年度学部・寄宿舎の取組みについて

5 提 言

● A 委員

- ・非常に学校が明るくなった。生き生きと授業している姿が深く印象に残る。

● B 委員

- ・保護者として、この学校にいることを、誇りに思う。
- ・作業学習が、製品の内容、製品づくりの工程、製品の完成度等、質の高いものになってきている。本校の生徒一人一人が取り組む作業（製品づくり）として、現実度が高くなっている

● C 委員

- ・堀切地区花壇整備の取り組みが素晴らしい。これまでは、婦人会で苗を購入し行っていたが、育苗から学校で担っていただくようになり、非常にありがたく思っている。今後も地域（町内会）との交流を推進してもらいたい。

● D 委員

- ・本校（S 中学校）の事情により、「交流」がやや衰退した時期があったが、また盛んになってきたことは望ましい。また、かつては「久慈の養護学校には行きたくない」「恥ずかしい」といった意識が根強くあったが、薄らいできている。今後とも地域の理解を推進していきたい。
- ・各学級に 3～4 名、特別な支援を要する生徒が在籍する。久慈拓陽支援学校教員による本校教員への支援の充実には期待したい。
- ・聞こえ（聴覚障がい）の特別支援学級設置の要望がある。この点についても、今後の支援をお願いしたい。

● E 委員

- ・何より学校の雰囲気が明るい。10 年程前に比べると、のびのびとした子どもたちが増えていることを実感する。
- ・震災があった。大きな地震に備えた（想定した）訓練の必要性を感じる。地震が起きたときの場所に応じた動き方等行動マニュアル（指針）を整備しておくことが必要である。

6 閉 会

次回を、平成 24 年 2 月 20 日（月）と確認

